

論文本試験問題文の読み方、出題趣旨を徹底分析

# H22従来型試験最強の法則

## 2/13(土) 名古屋本校LIVE

## 辰巳各本校2/18(木)VB開始 通信3/12(金)発送開始

### 講座仕様

**回数** 全3回・9時間**科目** 6科目**題材** オリジナルテキスト**対象** 平成22年度の従来型本試験  
に絶対合格したい方**講師** 弁護士  
片山 木歩 講師

東京大学法学部卒  
大学卒業後はマスコミ関係に在籍した  
のち、平成16年から司法試験にチャレン  
ジする。  
惜しくも平成18年は論文A評価で不  
合格であったが、平成19年度の本試験で  
は総得点が140点を超え、見事上位  
10%にはいる実力で合格した。  
平成20年初頭に名古屋本校で行った  
「論文本試験10点アップの法則」「短  
答本試験50点ゲットの法則」以来、司  
法修習を経て、久々の講義となる。

### 勝負は論文本試験

平成21年度の最終合格者数は92人まで落ち込み、従来型1本で司法試験を目指す方にとってはまさに「厳しすぎる状況の中でのラストチャンス」と言えるでしょう。特に論文試験は、合格者1500人時代には5人に1人が合格していたのに対し、近年は10人に1人の合格者しか出ず、年々論文本試験への対策の重要性が増してきています。

### 再現答案の分析だけでは勝ち抜けない。

この講座を検討している方の多くは、毎年、合格者が作成した「再現答案」を集めて分析をしていると思います。では、なぜそうした再現答案の分析が結果に結びつかないのでしょうか？

本試験の現場では、①問題文を読む→②書くべき項目を考え答案構成をする→③実際に答案に表現する、という3つのプロセスを踏むはずですが、しかし、いわゆる再現答案の分析だけでは、③の答案の表現方法について研究することは出来ても、答案を構成する上で最も重要な②の部分については、力を鍛えることが出来ないのです。このため、ただ再現答案を集め読む勉強方法をとっていても来年の本試験で上位50人に入ることは難しいと言わざるを得ません。

### 講師は、弁護士となって再び辰巳の教壇に帰ってきた

平成19年度の合格者講義「論文本試験10点アップの法則」「短答本試験50点ゲットの法則」で、合格まであと一步の受験生を次々と合格に導いた片山木歩講師が弁護士となって辰巳に帰ってきました。

講義では、近年の論文過去問と法務省発表の出題趣旨を素材として、①問題文の読み方、②問題文から書くべき項目を思いつづ方法、③答案に書くべき項目を盛り込むための事前準備のあり方について、全科目徹底的に解説していきます。

平成22年度の従来型司法試験で、最終合格を目指す方にとって、明確な指針と対策を確立する講座。それが「H22従来型試験最強の法則」です。

## 辰巳法律研究所

<http://www.tatsumi.co.jp/>

□東京本校 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-3-6  
□横浜本校 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-23-5 銀洋第2ビル4F  
□大阪本校 〒530-0051 大阪市北区太融寺町5-13 東梅田パークビル3F  
□京都本校 〒600-8008 京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町8 京都三井ビルディング5F  
□名古屋本校 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-26-22 名駅ビル3F  
□福岡本校 〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-17 西日本ビル8F

TEL 03-3360-3371 (代表)  
TEL 045-410-0690 (代表)  
TEL 06-6311-0400 (代表)  
TEL 075-254-8066 (代表)  
TEL 052-588-3941 (代表)  
TEL 092-726-5040 (代表)

## 片山講師からのメッセージ

みなさん、こんにちは。1年4か月の司法修習を経て、ようやく実務家として教壇に帰還することができました。受験生のみなさんは、実質ラストチャンスとなる平成22年の従来型司法試験に向けて気合いをみなぎらせていることと思います。

今回の講義では、論文本試験当日に問題文と向き合っ、頭をどのように働かせるかという点、そのために何を準備しておくべきかという点に重点を置きたいと考えています。論文本試験で重要になるのは、「答案をどのように書くか」ではなく、「書くべき項目を落とさないか」といういわば徹底した守りの姿勢です。これは、私が合格した平成19年の試験でも、みなさんが受験する平成22年の試験でも変わらないものです。答案の表現方法が悪い人間ではなく、書くべき項目を落とした人間から落ちていくのが従来型の試験の本質なのです。講座を通して、過去の論文本試験問題と出題趣旨を徹底的に分析し、当日のパフォーマンスの最大化方法と事前準備のストラテジーを完全に確立すれば、本番に向けて怖いものはなくなるはず。最終合格まで一気に駆け抜けていきましょう！

## 片山講師のデビュー講座 「論文本試験 10点アップの法則」の受講者からの絶賛の声

- 論文答案の書き方について、ここまでハッキリと丁寧に教えていただくことが今までなかったので、たいへん参考になりました。
- 論文答案の書き方をここまで見事に整理しているのは凄い。
- 自分がぼんやりと感じていたことがいろいろ形になって示されたのがよかった。
- 補助資料とレジュメの「憲法インプットポイント」がとても役立ちそうです。「アウトプットから逆算したインプット」とはどういうことかよく分かりました。ちゃんと実現できるようにしたい。
- ここまでレジュメの情報量が多いとは思わなかったのでびっくりしましたが、自分のノウハウを全て教える姿勢を感じました。
- 「基本から書く」という言葉の意味がわかり始めました。
- 合格する自信みたいなものがつきました。
- 全4回の講義ありがとうございました(実質6~7回分くらいですね)。
- 「何」を「どれだけ」やって「どのように」書くかをここまで明らかにしてもらえた講義は初めてです。
- 択一から口述まで使いきれぬレジュメは他にないと思います！
- 原則-例外を意識して、インプットをしてきたものを整理しなおしたいです。後半では、去年の論文本試験時の感覚がよみがえるくらいリアルな講義でした。最後の言葉から、片山先生の熱意が伝わってきました

【平成20年名古屋本校でLIVE講義を受講した方のアンケートより】

## 日程・スケジュール

	担当講師 (敬称略)	名古屋本校	辰巳各本校		通信部
		LIVE	VB ブース		
科目	片山 木歩	土曜日	利用開始	利用終了	発送開始日
1 憲法・民法		2/13(土)	2/18(木)	3/18(木)	3/12(金)
2 刑法・商法		2/20(土)	2/25(木)	3/25(木)	
3 民訴・刑訴		2/27(土)	3/4(木)	4/4(日)	

講義	14:00-17:00	辰巳各本校…東京・横浜・名古屋・京都・大阪・福岡
----	-------------	--------------------------

## 受講料(税込)

通学部			通信部			
講座コード	辰巳価格	生協価格	カセットコード	MDコード	辰巳価格	生協価格
09732*	¥14,000	¥13,300	R-131	R-131M	¥16,100	¥15,295

※通信部はカセット版か MD 版かをお選び下さい(料金は同じです)

※通信部の MD 版は MDLP 対応機種でのみご利用いただけます

お申込の際はご自身のプレイヤーが MDLP 対応であるかをご確認の上お求め下さい

必ず \* に会場コードを当てはめて下さい

東京 H	横浜 Y	大阪 K	京都 M	名古屋 N
福岡 F	宇都宮 U	岡山 L	高松 A	鹿児島 Z